SSH NEWS 2026.　第36号

SSH NEWS

未知に、挑もう。
神奈川県立横須賀高等学校

SSH News Scope vol. 7 ～ニュースから探究を始めよう～

今年度から不定期で、SSH委員が気になるニュースを新聞やネット記事などから見つけて皆さまにお伝えします。身近な「なぜ」から探究は始まります。日々のニュースには科学や社会について考えるきっかけがたくさんあります。皆さんもニュースをきっかけに「なぜ」を見つけて一緒に考えてみませんか。
vol. 7は**１年４組　青柳　駈**さんからお届けします！

AI利用が期待される産業分野

AIはさまざまな産業で急速に普及し、今や産業のインフラとも呼べる存在となっています。例えば製造業では、製品の品質検査の自動化や設備の予防保全、小売・卸業では需要予測による在庫の最適化などにAIが活用されています。物流業では配車・運航計画の効率的な立案、金融・保険業では不正取引の検知や資産運用のアドバイスなどにAIシステムが導入されています。医療分野では、CTやMRIなどの医用画像の診断支援や創薬研究の効率化で、すでに大きな成果を上げています。さらに、建築分野での設計支援、不動産での物件提案、農業分野での病害予測、モビリティ分野の自動運転技術、学問・教育でのアプリ教材など、あらゆる産業でAIの活用が広がっています。AIを導入することで、業務効率の向上や人的ミスの削減、24時間365日の運用が可能になるなど、多くのメリットがあります。近年は少子高齢化による労働力不足や職業選択の多様化により、人材確保が困難な産業領域が拡大しています。こうした人手不足の分野でも、AIやAIを搭載したロボットの活躍が期待されています。



図表4. AI活用実用化事例：膀胱内視鏡画像診断AI
出典：NEDO

NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)
https://www.nedo.go.jp/activities/introduction_100028_01.html#block より抜粋

私は、AIは単に作業を効率化するだけでなく、これまで解決が難しかった問題を解決する可能性を持っていると感じた。特に興味を持ったのは、医療分野でのAIの活用である。画像にある膀胱内視鏡画像の診断AIは、画像を学習することで病気を高い精度で診断できるようにするもので、技術の進歩に驚いた。さらに、AIを活用することで、専門医が少ない地域でも医療を受けやすくなり、医療格差の解消にもつながるのではないかと考えた。一方で、AIの判断が必ず正しいとは限らず、誤った診断が人の健康に影響を与える可能性もある。そのため、AIにすべてを任せるのではなく、医師の経験や判断と組み合わせることが大切だと思う。また、AIが発展するほど、それを正しく使う人間の知識や責任も重要になると感じた。今後は、AIを人間の仕事を奪うものとしてだけでなく、人間の能力を補い、社会の課題を解決するための道具として活用していくべきだと思う。私も、AIの便利さだけに注目するのではなく、その仕組みや課題についても学び、将来どのように社会に役立てられるのか考えていきたい。

１年４組　青柳　駈

【プロフィール】



青柳　駈さん
Principiaでは校内研究に所属し、「辛さをなくすカルピス」をテーマに研究を進めている。空手部では学校での練習のほか、校外の道場にも通いながら、大会に出場するなど積極的に活動している。好きな教科は「化学基礎」と「体育」で、文武両道を目指しながら学校生活を送っている。